

# 施策・基本事業評価表

作成日 平成 24 年 4 月 15 日

基本目標No.	4	基本目標名	人と文化を育むまち
施策No.	33	施策名	文化の振興
主管課名	生涯学習・スポーツ課	主管課長名	中村重明
関係課名	図書館、埋没林博物館		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な芸術文化にふれる機会が多く、市民が活気と潤いに満ちています。</li> <li>・伝統文化が継承され、市民が郷土の伝統や文化に愛着と誇りを持っています。</li> </ul>
-----------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に芸術文化活動に参加します。</li> <li>・市の歴史や伝統文化、文化財に関心を持ち将来に伝えていきます。</li> </ul>
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化振興のため、発表会や優れた芸術活動の奨励に取り組めます。</li> <li>・伝統文化、文化財の保護・継承に努めます。</li> </ul>
	その他	

施策の成果達成にあたっての現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化活動に携わる市民が固定化し高齢化する傾向にあるため、市民文化祭や市美術展、音楽のまちづくり推進事業といった既存の事業に加えて、新たな活動や若い世代を支援することにより、市民誰もが生活に潤いを感じ、心の豊かさを実感できる環境づくりが課題となっています。</li> <li>・指定文化財の保護・継承については、地元住民の減少や高齢化により民俗文化財の継承が困難な状況があり、後継者の育成が急務となっています。また、未調査の文化財についても早急に検証し、開発や破壊から保護・保全をする必要があります。</li> </ul>
--------------------	--

施策No.	33	施策名	文化の振興
-------	----	-----	-------

基本事業名①		事業内容(活動内容)								
芸術文化活動の推進		恵まれた文化施設を活用し、市民による創作や成果発表などの活動を支援するとともに、美術や音楽などの優れた芸術文化活動に触れる機会を増やします。								
①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
芸術文化振興事業		市民に優れた音楽、舞台芸術の鑑賞機会を提供し、文化芸術の普及と振興を図ります。								
音楽のまちづくり推進事業		各種音楽事業を実施し市民が気軽に音楽に親しめる環境を作ります。								
新川文化ホール運営事業		県文化振興財団を指定管理者として、ホール、展示事業を実施し鑑賞の機会を提供します。								
新川文化ホール鑑賞事業		児童・生徒に優れた音楽、舞台芸術の鑑賞機会を提供します。								
基本事業①の目的【意図】		芸術文化活動に数多く触れ、市民の誰もが心の潤いと心の豊かさを実感できます。								
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
芸術文化活動に触れる機会が多くあると思う市民の割合	%	24.2	22.0	23.0	24.0	25.0	26.0	27.0	32.0	
新川文化ホールや新川学びの森天神山交流館の自主企画事業の参加者数	人	46,138	58,000	59,000	60,000	61,000	62,000	63,000	68,000	
			57,441	47,761						
基本事業名②		事業内容(活動内容)								
地域の歴史や文化の保存・継承		魚津の歴史や文化の紹介とともに、洞杉や米騒動などの地域遺産を検証し、保護・継承に努めます。また、魚津市史(現代編)を刊行し、市の歴史に対する市民の理解を深めます。								
②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
文化財保護団体育成事業		指定無形民俗文化財保護団体の実施する活動を支援します。								
文化財保護・管理事業		国指定の特別天然記念物である埋没林をはじめ市内の文化財を保護管理し、文化財保護審議委員会を開催し文化財の指定・調査を行います。								
市史刊行・普及事業		新しい魚津市史を刊行し市の歴史に対する市民の理解を深めます。								
基本事業②の目的【意図】		郷土の文化財・伝統文化の保存活用に努めるとともに、市民の郷土を愛する意識を高めます。								
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
郷土の歴史や伝統などが継承され、自然に恵まれた文化が豊かであると感じている市民の割合	%	39.0	40.0	39.0	40.0	41.0	42.0	43.0	48.0	
たてもんボランティア参加人数	人	153	300	310	320	330	340	350	400	
			200	118						
基本事業名③		事業内容(活動内容)								
③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
基本事業③の目的【意図】										
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
基本事業名④		事業内容(活動内容)								
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
基本事業④の目的【意図】										
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		

施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み

施策No.	33	施策名	文化の振興
23年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)		
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述) <ul style="list-style-type: none"> <li>・新川文化ホールや新川学びの森天神山交流館の自主事業の参加者は21年度並となりました。これは22年度開催のトリックアート展の入場者が16,000人と飛びぬけて多く、例年より一万人多かったためであります。</li> <li>・市民アンケートでは、芸術文化活動に触れる機会が多くあると感じる市民の割合及び、郷土の歴史や伝統などが継承され、自然に恵まれた文化が豊かであると感じている市民の割合は増加しています。</li> <li>・たてもんボランティア参加者数は、初日が雨天中止となり1日の参加者数では前年度並みであります。</li> </ul>		
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述) ①新川文化ホールと天神山交流館等の文化施設があり、その中で行われている文化芸術活動は、近隣他市、同規模市と比較しても充実しています。		
23年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述) ①文化芸術について、5万弱の人口規模の魚津市で開催できる企画は、全国規模の企画を実施することは難しく、また、市民の希望する分野も多岐にわたるため、全ての分野において市民の期待水準に答えることは難しいと思われます。		
	2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取り組み内容を中心に記述) ①小中学校の時から文化芸術に親しんでもらうため、新川文化ホールでの芸術鑑賞や伝統芸能、音楽鑑賞を実施しています。 ②音楽の街づくり事業による小中学校、公共施設への出前演奏を行いました。 ③新川文化ホールの展示ホールやミラージュギャラリーで市美術協会員展を開催しました。 ④歴史民俗博物館の展示への市内小学6年生の鑑賞・解説授業を行いました。 ⑤たてもんボランティア募集により、郷土の伝統を守る意識の向上を図りました。 ⑥歴史と文化の薫るまちづくり事業として、水尾城跡、石の門跡跡に解説板を設置しました。また、小学生高学年を対象に歴史副読本を作成しました。 ⑦文化施設を利用しやすい施設とするため、学びの森交流館の園路舗装、屋上防水、重油配管修繕、厨房改修、さくらホール改修、中型バス購入を行いました。		
	3. 施策の課題認識及び24年度の取り組み状況(予定) (23年度末で残った課題、既に24年度に取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述) ①新川文化ホールや学びの森交流館で開催するコンサートや企画展等については、幅広い市民の要望を取り入れた内容となるよう指定管理者と協議していきます。 ②県内各文化施設と連携し少ない事業費でコンサート等が開催できるよう工夫していきます。 ③洞杉を、市文化財に指定し、保護顕彰に努めます。 ④歴史と文化の薫るまちづくり事業として、大町海岸周辺に案内看板や標柱を整備し、地域の活性化に努めます。 ⑤山城サミットを開催し、富山県を代表する山城である松倉城跡を紹介するとともに、先進地の山城の活用策を紹介します。		
部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	※施策の重要度※	重点	
経営戦略会 議における 施策の課題 及び方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財が地域の資源として利活用が図られ、地域の振興につながるよう、文化財保護や伝統芸能の継承に対する活動を引き続き支援します。</li> </ul>		